

奈良大学・王寺町 共同研究 「王寺町における買い物困難者調査」分析結果を報告

～高齢者の買い物行動の実態と課題を明らかにし、解決のための方向性を検討～

奈良大学（所在：奈良市山陵町1500/学長：清水哲郎）は、包括連携協定を結ぶ奈良県王寺町と共同で、高齢者の買い物行動の現状や課題を明らかにして課題解決のための方向性を検討するため、王寺町在住の65歳以上の高齢者を対象に、2016年11月～2017年1月にかけて「王寺町における買い物環境に関するアンケート調査」を実施、この調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

高齢化が進む現在、買い物に出かけることが困難な人々、いわゆる「買い物困難者」の増加が全国各地で懸念されています。王寺町においても、集落、新興住宅地、駅前中心市街地などの各地域で、買い物環境を巡る様々な課題が生じています。そこで、高齢者の買い物行動の現状や課題を明らかにするアンケート調査を実施しました。

この調査では、都市地理学の専門家・文学部地理学科 稲垣稜准教授が調査設計・実施及び分析を行い、アンケート設計については、データ収集法・統計的分析法の専門家・社会学部総合社会学科 吉村治正教授より助言を得ています。

この結果、王寺町内に在住の65歳以上の方の中から、3,500名を無作為抽出で実施し、回答総数2,253件（有効回答2,247件・無効回答6件／有効回答率64.2%）のデータを収集・分析し、以下のような結果が得られました。

【調査結果（抜粋）】

①生鮮食料品の買い物について、最も多かったのは「自分で買いに行く」67.4% **【調査結果3】**。交通手段は、「車やバイク（自分で運転）」44.3%、「徒歩・自転車」39.9% **【調査結果5】**。お店までにかかる時間は、「10分以内」47.4%、「30分以内」47.4% **【調査結果7】**。買い物において不便を感じるかどうかを聞いたところ、「不便である」39.2% **【調査結果4】**。

【稲垣准教授の分析】

①大規模住宅開発がされた地区は入居年次が特定の時期に偏っており、これらの地区は将来的に高齢化が一気に進むと思われるうえ、現在ほとんど食料品店が存在せず店舗立地も困難なため将来的な買い物困難者の発生が懸念される。

【調査結果1】

②個人商店がほとんど利用されておらず、総じて食品スーパーで生鮮食料品は購入されている。 **【調査結果6】**

③10分以内に買い物先が多い地区と少ない地区が明確。買い物先まで10分というのは買い物困難者になる基準のひとつであり、こうした人々を少なくしていく必要がある。 **【調査結果7】**

④60代では、「車の運転への懸念」、70代、80代では「公共交通に関すること」の不満が高くなっている。 **【調査結果9】**

＜本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先＞

奈良大学広報デスク（プランニング・ポート内）福嶋・澤田・井上 TEL：06-4391-7156 FAX：06-4393-8216

奈良大学 広報室 中嶋・酒井 TEL：0742-41-9588 FAX：0742-41-9598

奈良大学HP <http://www.nara-u.ac.jp/>

「王寺町における買い物環境に関するアンケート調査」概要

- 実施期間 2016年11月～2017年1月
- 調査目的 高齢者の買い物行動の現状や課題、問題点を明らかにし、課題解決のための方向性を検討するため
アンケート対象：王寺町内在住の65歳以上の方の中から3,500人を無作為抽出
- 調査対象 王寺町在住の65歳以上の高齢者3,500名を無作為抽出
回答総数：2,253件（有効回答2,247件・無効回答6件）

	合計	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
全体（人）	2247*	659	1061	453	74
%	100.0	29.3	47.2	20.2	3.3
男性（人）	926	268	465	171	22
%	100.0	28.9	50.2	18.5	2.4
女性（人）	1317	390	595	280	52
%	100.0	29.6	45.2	21.3	3.9

* 性別無回答(4)を含む

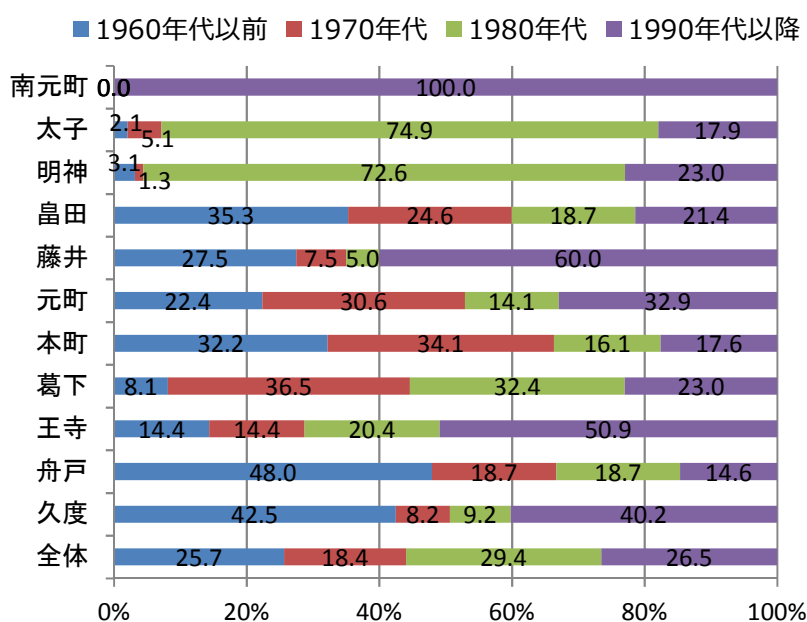
	人数	%
南元町	9	0.4
太子	197	8.8
明神	321	14.3
畠田	406	18.1
藤井	40	1.8
元町	85	3.8
本町	484	21.5
葛下	75	3.3
王寺	171	7.6
舟戸	127	5.7
久度	310	13.8
全体	2247*	100.0

* 地区無回答(22)を含む

- 調査・分析 奈良大学
文学部地理学科 准教授 稲垣稜

調査結果

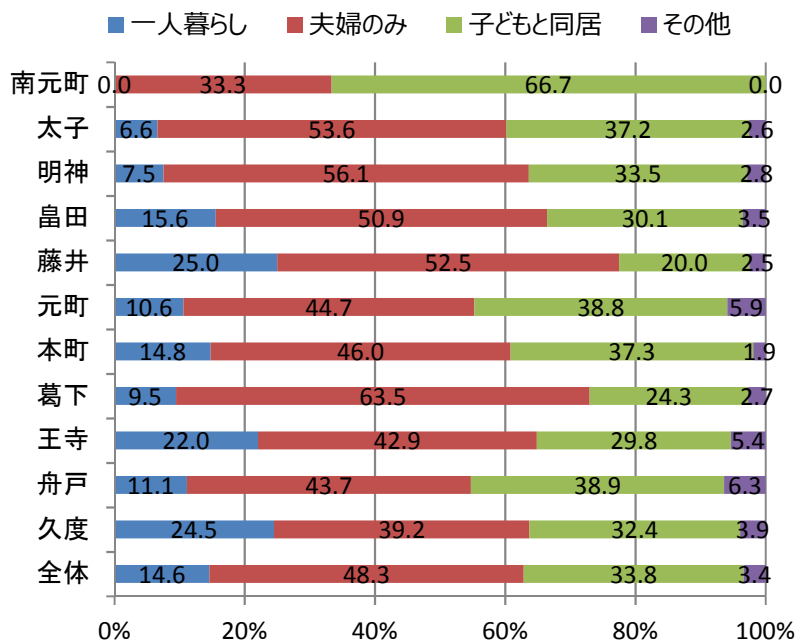
1) 現住地への入居年



	1960年代以前	1970年代	1980年代	1990年代以降
南元町	0.0	0.0	0.0	100.0
太子	2.1	5.1	74.9	17.9
明神	3.1	1.3	72.6	23.0
畠田	35.3	24.6	18.7	21.4
藤井	27.5	7.5	5.0	60.0
元町	22.4	30.6	14.1	32.9
本町	32.2	34.1	16.1	17.6
葛下	8.1	36.5	32.4	23.0
王寺	14.4	14.4	20.4	50.9
舟戸	48.0	18.7	18.7	14.6
久度	42.5	8.2	9.2	40.2
全体	25.7	18.4	29.4	26.5

大規模に住宅地開発がなされた地区は、入居年次が特定の時期に偏っている（特に明神、太子、南元町）。これらの地区は将来的に高齢化が一気に進むものと思われる上、現在ほとんど食料品店が存在せず、用途地域上も店舗立地が困難なため、将来的な買い物困難者の発生が懸念される。

2) 居住形態



	一人暮らし	夫婦のみ	子どもと同居	その他
南元町	0.0	33.3	66.7	0.0
太子	6.6	53.6	37.2	2.6
明神	7.5	56.1	33.5	2.8
畠田	15.6	50.9	30.1	3.5
藤井	25.0	52.5	20.0	2.5
元町	10.6	44.7	38.8	5.9
本町	14.8	46.0	37.3	1.9
葛下	9.5	63.5	24.3	2.7
王寺	22.0	42.9	29.8	5.4
舟戸	11.1	43.7	38.9	6.3
久度	24.5	39.2	32.4	3.9
全体	14.6	48.3	33.8	3.4

王寺駅周辺及び藤井において一人暮らしの高齢者が多い。子どもと同居の割合が比較的高い地区も、今後は世帯分離が進んで夫婦のみ、一人暮らしが増えていくと考えられる。

「好き」を深める。「好き」が広がる。

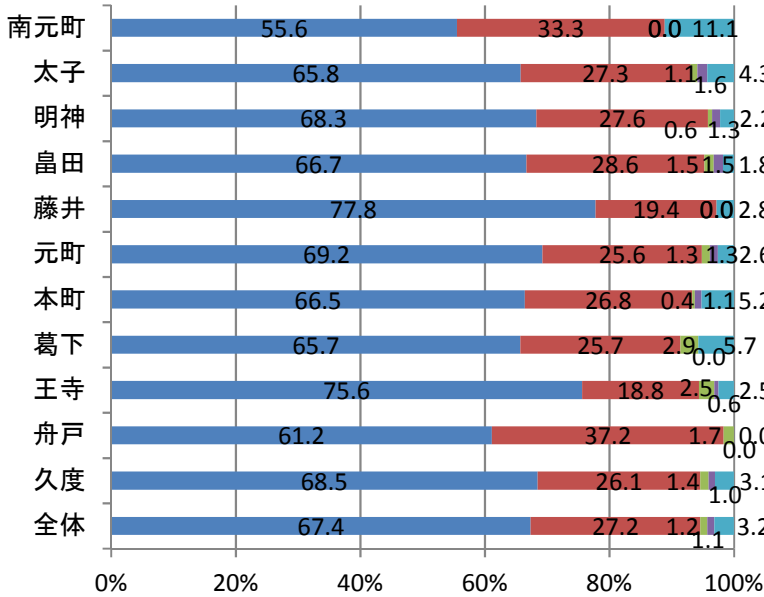


調査結果

3) 生鮮食料品の購入方法

- 自分で買いに行く
- 同居する家族に買ってもらう
- 別居する家族に買ってもらう
- 家族以外(ヘルパーなど)に買ってもらう
- 宅配・通販を利用する

(%)



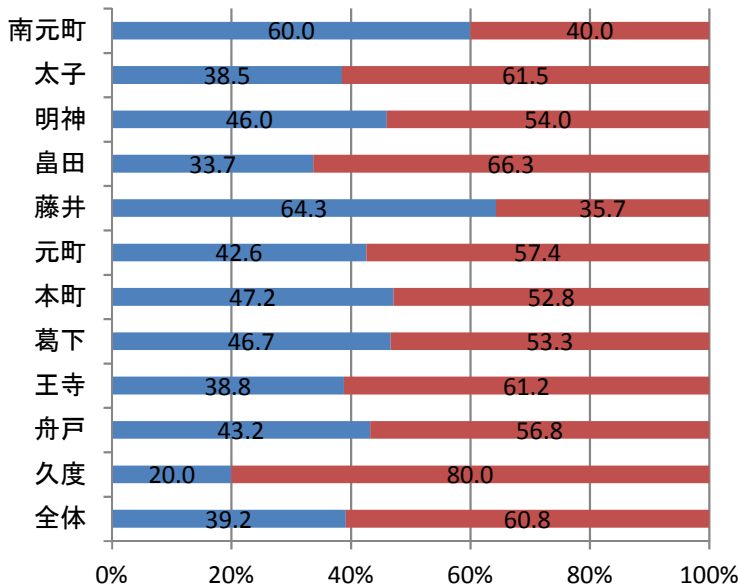
	自分で買いに行く	同居する家族に買ってもらう	別居する家族に買ってもらう	家族以外(ヘルパーなど)に買ってもらう	宅配・通販を利用する
南元町	55.6	33.3	0.0	0.0	11.1
太子	65.8	27.3	1.1	1.6	4.3
明神	68.3	27.6	0.6	1.3	2.2
畠田	66.7	28.6	1.5	1.5	1.8
藤井	77.8	19.4	0.0	0.0	2.8
元町	69.2	25.6	1.3	1.3	2.6
本町	66.5	26.8	0.4	1.1	5.2
葛下	65.7	25.7	2.9	0.0	5.7
王寺	75.6	18.8	2.5	0.6	2.5
舟戸	61.2	37.2	1.7	0.0	0.0
久度	68.5	26.1	1.4	1.0	3.1
全体	67.4	27.2	1.2	1.1	3.2

特にサンプルの少ない南元町と藤井を除いて考えると、地区ごとの差はさほどなく、唯一王寺地区において「自分で買いに行く」割合が高くなっている。これは、王寺において単独世帯に住む高齢者の割合（王寺町全体24.6%、王寺地区43.4%）が高いことが影響していると考えられる。

4) 買い物の不便

- 不便である
- 不便を感じない

(%)



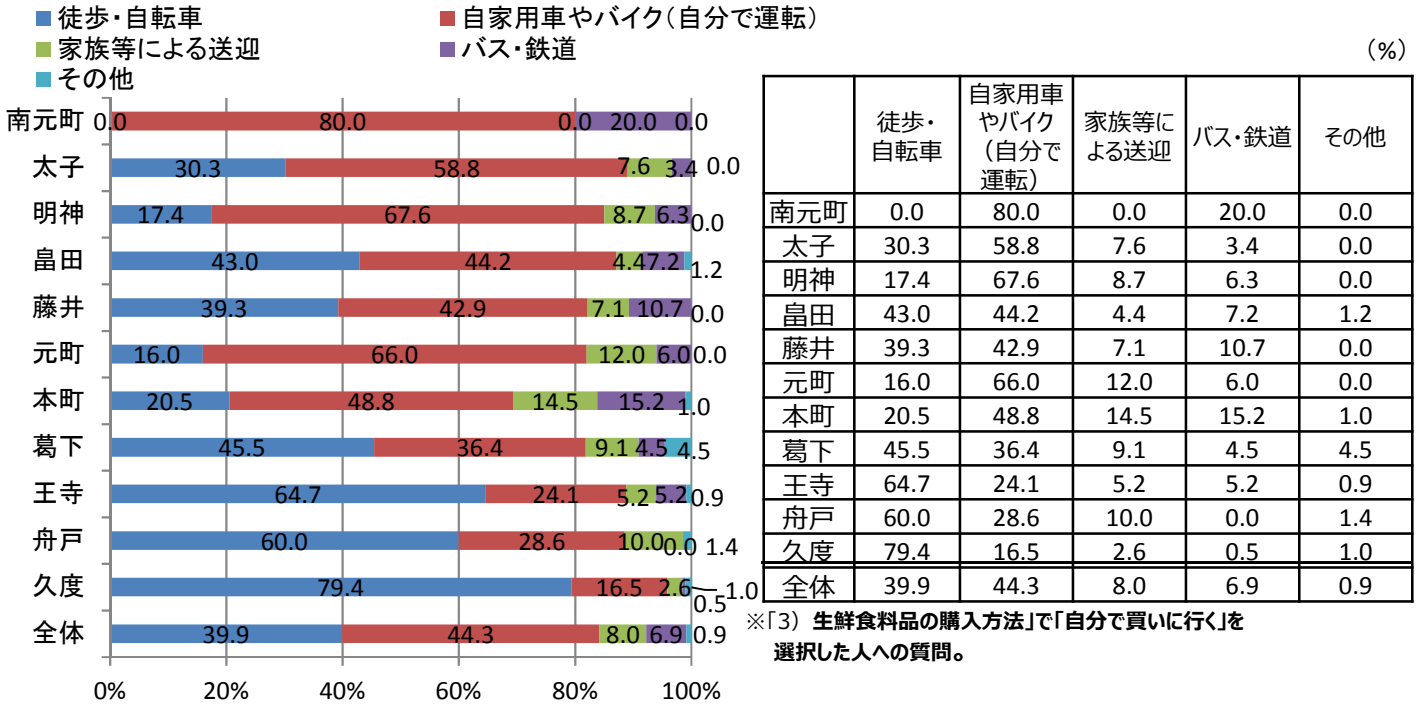
	不便である	不便を感じない
南元町	60.0	40.0
太子	38.5	61.5
明神	46.0	54.0
畠田	33.7	66.3
藤井	64.3	35.7
元町	42.6	57.4
本町	47.2	52.8
葛下	46.7	53.3
王寺	38.8	61.2
舟戸	43.2	56.8
久度	20.0	80.0
全体	39.2	60.8

※[3] 生鮮食料品の購入方法で「自分で買いに行く」を選択した人への質問。

鉄道駅付近で商業施設に恵まれている久度、畠田の利便性の高さと、交通空白地帯である藤井の不便さが対照的である。本町や明神のような大規模住宅地を含む地区も比較的不便を感じる割合が高い。

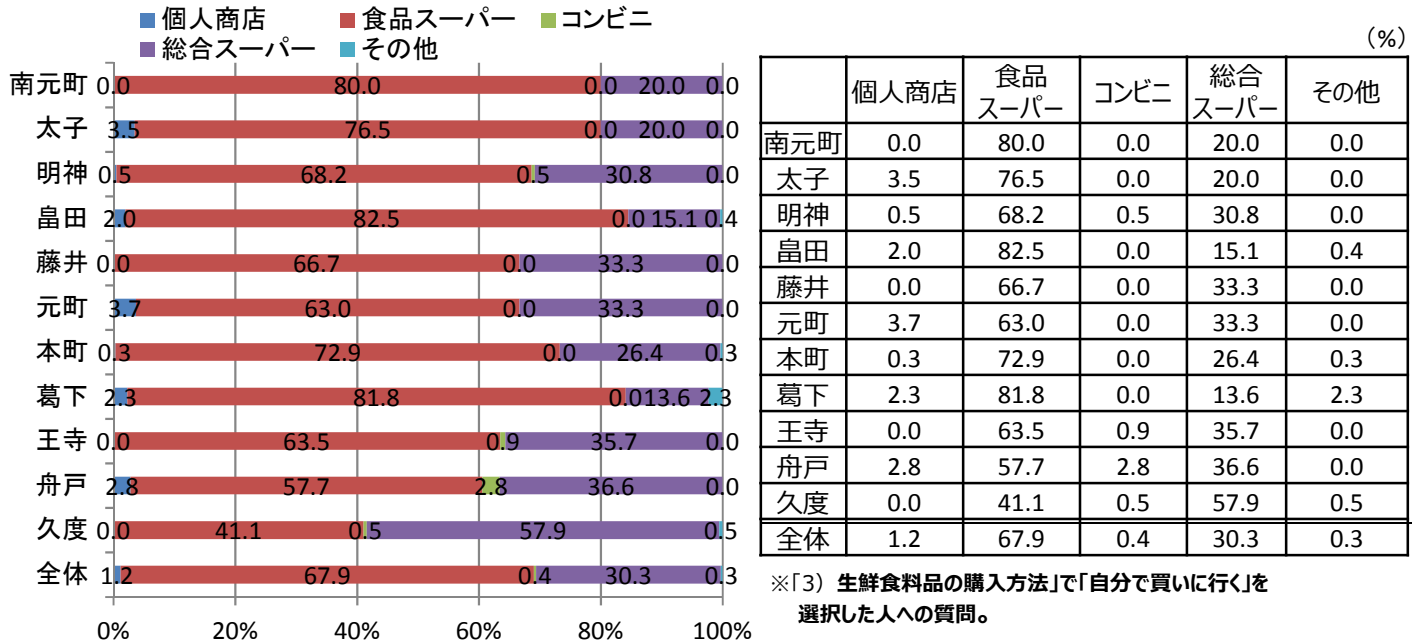
調査結果

5) 買い物先（生鮮食料品）の交通手段



徒歩で買い物が可能な王寺駅周辺と、自家用車に依存した地区（丘陵地の大規模住宅地）の差異が明確である。

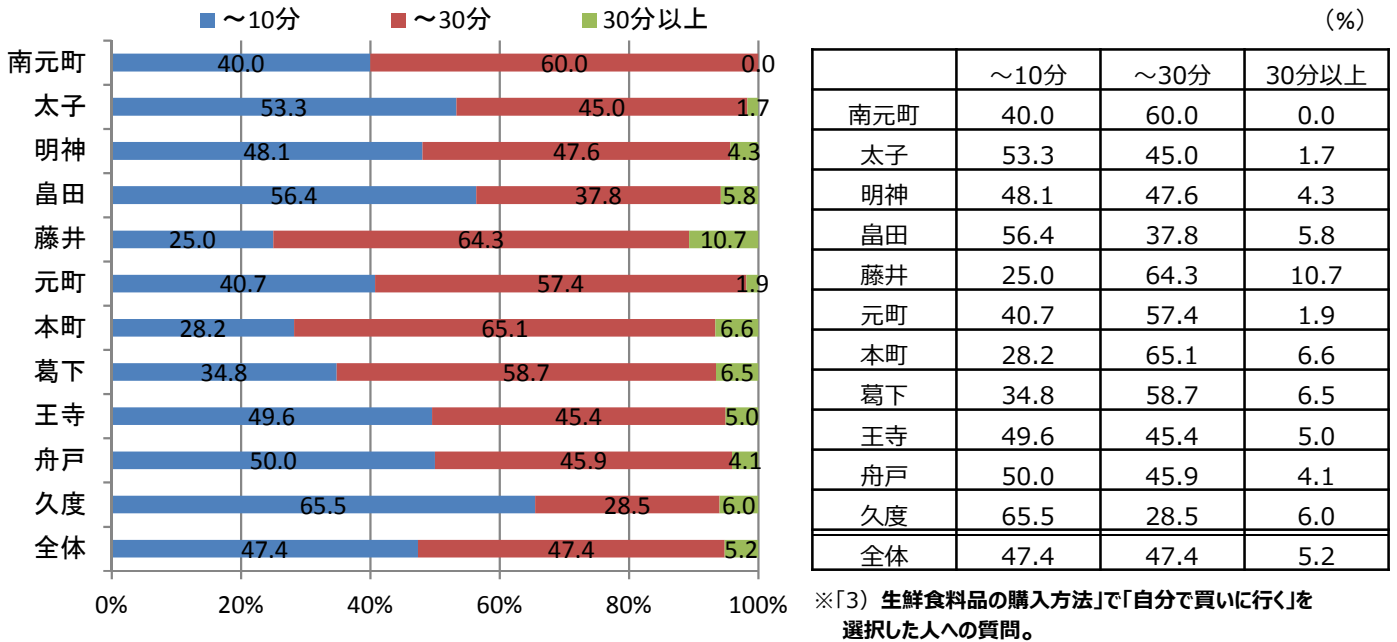
6) 買い物先（生鮮食料品）の店舗の種類



個人商店がほとんど利用されていない（個人商店自体が大幅に減少していることも一因）。近くに総合スーパー（西友など）が存在する久度においてその割合が高いが、他の地区では総じて食品スーパーで生鮮食料品が購入されている。

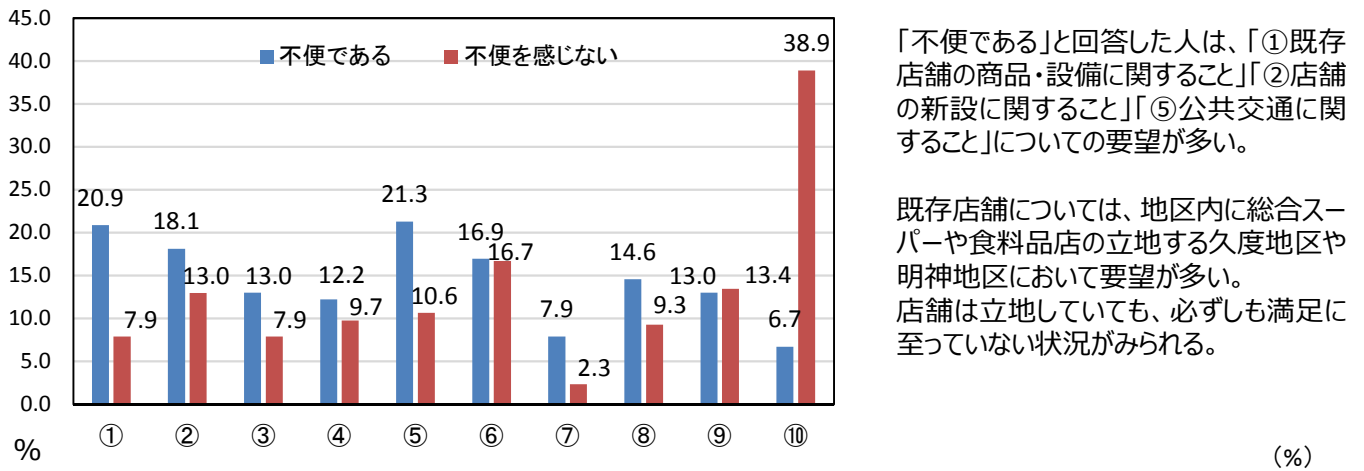
調査結果

7) 買い物先（生鮮食料品）までの所要時間



10分以内に買い物先が多い地区（久度）と少ない地区（藤井・本町）の対照的な性格が明確である。買い物先まで10分というのは買い物困難者となる基準の一つであり、こうした人々を少なくしていく必要がある。

8) 買い物が不便かどうか×不便に感じていることや要望



「不便である」と回答した人は、「①既存店舗の商品・設備に関すること」「②店舗の新設に関すること」「⑤公共交通に関すること」についての要望が多い。

既存店舗については、地区内に総合スーパーや食料品店の立地する久度地区や明神地区において要望が多い。店舗は立地していても、必ずしも満足に至っていない状況がみられる。

不便に感じていることや要望	① 既存店舗の商品・設備に関すること	② 店舗の新設に関すること	③ 宅配サービス	④ 移動販売・配達・送迎サービス	⑤ 公共交通に関すること	⑥ 車の運転への懸念	⑦ 居住環境	⑧ 身体・家族サポート消費の不安	⑨ その他の不満・要望	⑩ 不満なし
不便である	20.9	18.1	13.0	12.2	21.3	16.9	7.9	14.6	13.0	6.7
不便を感じない	7.9	13.0	7.9	9.7	10.6	16.7	2.3	9.3	13.4	38.9

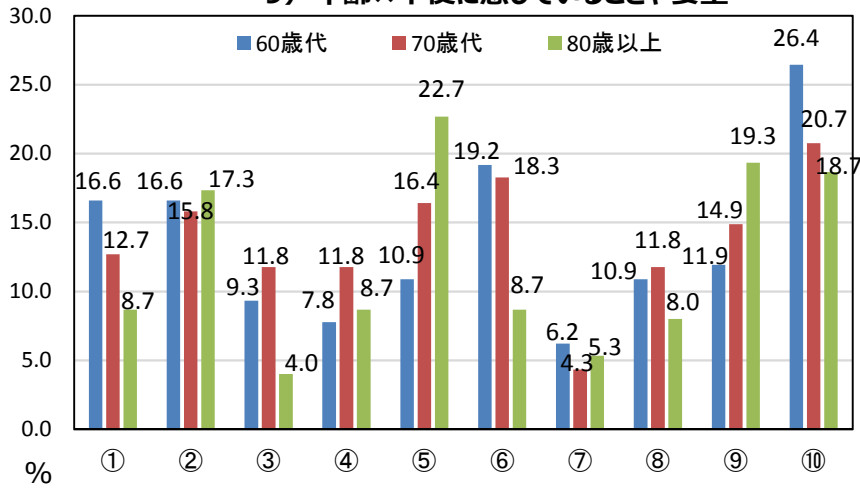
※[3] 生鮮食料品の購入方法で「自分で買いに行く」を選択した人への質問。

「好き」を深める。「好き」が広がる。



調査結果

9) 年齢×不便に感じていることや要望



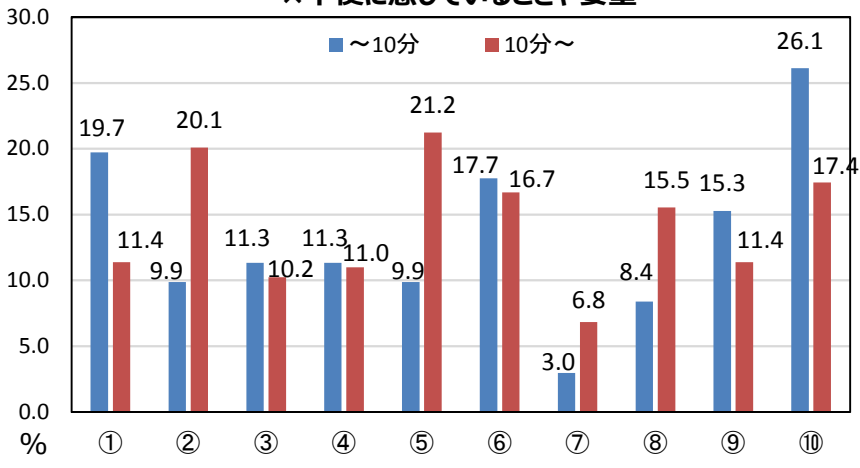
60歳代では、「⑩不満なし」を自由回答にて表明する記述が多くみられる。高齢者の中でも比較的若いことによると考えられる。一方で「⑥車の運転への懸念」の割合が高いことから、現時点では不満はないものの、将来車を運転できなくなった際の不安が大きいかを示している。

そのほか「⑤公共交通に関すること」は70歳代、80歳以上において多くなっている。車を運転できず公共交通に依存する高齢者にとって、現状の公共交通（バス）に満足できない状況にある。

不便に感じていることや要望	①既存店舗の商品・設備に関すること	②店舗の新設に関すること	③宅配サービス	④移動販売・配達・送迎サービス	⑤公共交通に関すること	⑥車の運転への懸念	⑦居住環境	⑧身体・家族サポート消失の不安	⑨その他の不満・要望	⑩不満なし
60歳代	16.6	16.6	9.3	7.8	10.9	19.2	6.2	10.9	11.9	26.4
70歳代	12.7	15.8	11.8	11.8	16.4	18.3	4.3	11.8	14.9	20.7
80歳以上	8.7	17.3	4.0	8.7	22.7	8.7	5.3	8.0	19.3	18.7

※「3）生鮮食品の購入方法」で「自分で買いに行く」を選択した人への質問。

10) 買い物先（生鮮食料品）までの所要時間×不便に感じていることや要望



買い物先（生鮮食料品）までの所要時間が短い人は「①既存店舗の商品・設備に関すること」に対する不満が多く、所要時間が長い人は「②店舗の新設に関すること」に要望が多い。所要時間の長い人の多くは、近隣に店舗が乏しい地区の居住者であり、身近な地区への店舗の新設が切実な要望といえる。

さらに、所要時間の長い人は、「⑤公共交通に関すること」や「⑧身体・家族サポート消失の不安」についての意見も数多く表明しており、非常に多様な不安、不満を抱えていると考えられる。

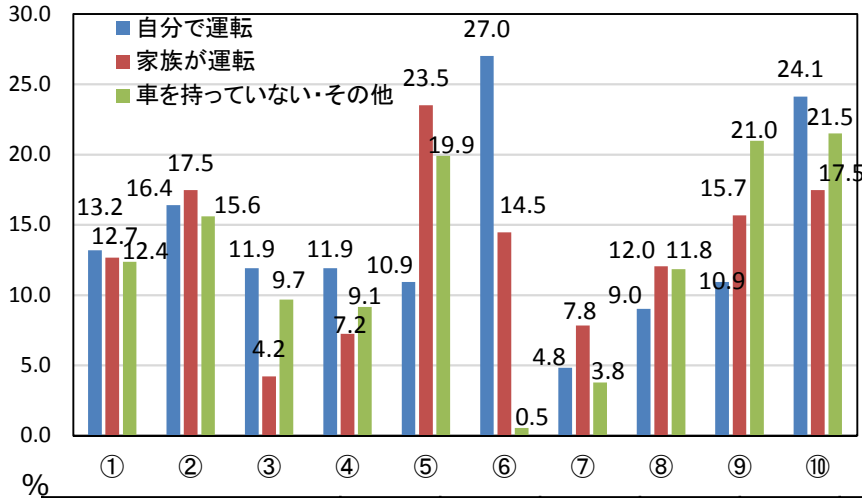
不便に感じていることや要望	①既存店舗の商品・設備に関すること	②店舗の新設に関すること	③宅配サービス	④移動販売・配達・送迎サービス	⑤公共交通に関すること	⑥車の運転への懸念	⑦居住環境	⑧身体・家族サポート消失の不安	⑨その他の不満・要望	⑩不満なし
～10分	19.7	9.9	11.3	11.3	9.9	17.7	3.0	8.4	15.3	26.1
10分～	11.4	20.1	10.2	11.0	21.2	16.7	6.8	15.5	11.4	17.4

※「3）生鮮食品の購入方法」で「自分で買いに行く」を選択した人への質問。



調査結果

11) 車の運転×不便に感じていることや要望



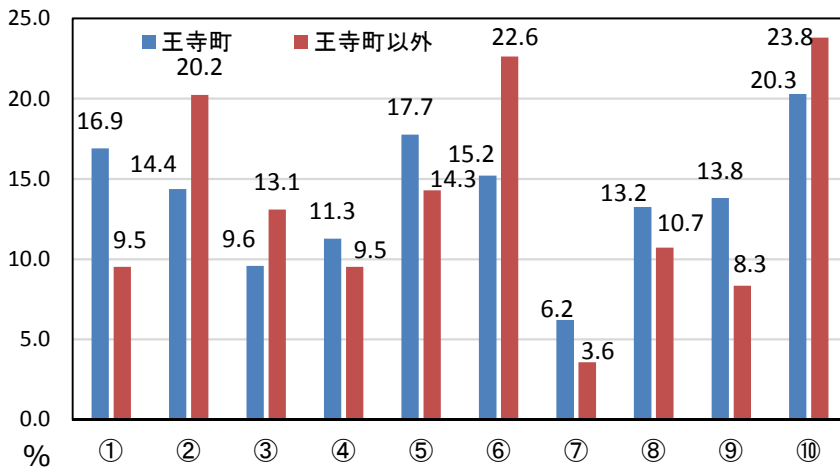
自分で車を運転する人は、「⑥車の運転への懸念」について数多くの意見を述べている。現時点というよりも、将来車を手放した時の生活・買い物が困難になることへの不安とみられる。家族が運転したり、車を持っていない人は、公共交通に依存せざるを得ないが、その「⑤公共交通に関すること」への不満が多い。

(%)

不便に感じていることや要望	①既存店舗の商品・設備に関すること	②店舗の新設に関すること	③宅配サービス	④移動販売・配達・送迎サービス	⑤公共交通に関すること	⑥車の運転への懸念	⑦居住環境	⑧身体・家族サポート消失の不安	⑨その他の不満・要望	⑩不満なし
自分で運転	13.2	16.4	11.9	11.9	10.9	27.0	4.8	9.0	10.9	24.1
家族が運転	12.7	17.5	4.2	7.2	23.5	14.5	7.8	12.0	15.7	17.5
車を持っていない・その他	12.4	15.6	9.7	9.1	19.9	0.5	3.8	11.8	21.0	21.5

※[3] 生鮮食料品の購入方法で「自分で買いに行く」を選択した人への質問。

12) 買い物先（生鮮食料品）の地域×不便に感じていることや要望



王寺町内で生鮮食料品を購入している人は、「①既存店舗の商品・設備について」の不満を表明し、王寺町以外に出かける人は「②店舗の新設」を要望する記述が多い。言い換えれば、自宅近隣に店舗がなく、王寺町以外に生鮮食料品を買いに行かざるを得ない人々が、王寺町内（地区内）に店舗を求めていると考えられる。

(%)

不便に感じていることや要望	①既存店舗の商品・設備に関すること	②店舗の新設に関すること	③宅配サービス	④移動販売・配達・送迎サービス	⑤公共交通に関すること	⑥車の運転への懸念	⑦居住環境	⑧身体・家族サポート消失の不安	⑨その他の不満・要望	⑩不満なし
王寺町	16.9	14.4	9.6	11.3	17.7	15.2	6.2	13.2	13.8	20.3
王寺町以外	9.5	20.2	13.1	9.5	14.3	22.6	3.6	10.7	8.3	23.8

※[3] 生鮮食料品の購入方法で「自分で買いに行く」を選択した人への質問。

「好き」を深める。「好き」が広がる。

